

平成25年度畑作物共済（ホップ）支払実績



～ 支払共済金49万円 ～

平成25年産畑作物共済（ホップ）の損害評価高がまとまり、12月10日に対象農家1戸に共済金49万4,400円が支払われた。

気象経過と生育状況は4月～6月上旬にかけては、日照時間も少なく気温がかなり低い期間があり、桜の開花も平年より1週間程度遅れるなど、ホップの萌芽も7日～10日以上的大幅な遅れとなった。6月中旬以降は、晴れの日が多く気温も上昇したため生育は進み、蔓の伸びは平年並み程度まで回復し良好な生育となったと思われたが、ホップ開花時期である、7月上旬からの雨や気温の低い日が続き、日照時間も

少なく経過した。

被害状況は、共済減収量割合で見ると、冷害が被害全体の約90%を占めている。また、病害が約10%となった。

《主な災害と被害状況》

冷害

長雨及び低温・日照不足により生育不良が発生した。

病害

長雨及び低温・日照不足の生育不良により、べと病・わい化病の発生がみられた。

組合名	引受方式	共済金支払対象				被害率	
		戸数(戸)	被害面積(a)	共済減収量(kg)	共済金(円)	面積(%)	金額(%)
南部地域	全相殺	1	91.7	240	494,400	13.5	2.4